

### 3-3 地域と関わりがあり多くの人が訪れる場

#### 3-3-1 調査方法

##### (1) 調査地点の選定

既存資料調査、聞き取り調査及び現地調査により、対象事業実施区域及びその周辺並びに沙流川合流部までの額平川の河川区域の中から、地域と関わりがあり多くの人が訪れる場として、「すずらん群生地」を選定した。

この「すずらん群生地」には、毎年、「すずらん鑑賞会」が開催される期間（5月下旬～6月上旬の10日間程度）になると町内外から多くの人々が訪れ、旅行代理店、バス会社等によって、「すずらん観賞」を目的とした観光ツアーも企画されている。

なお、調査地点の位置図は、図3-3-1に示すとおりである。

##### (2) 調査の日程

調査は、晴天の休日及び平日に実施した。

平日調査：平成17年5月30日（月）

休日調査：平成17年6月5日（日）

##### (3) 調査の方法

調査は、以下の方法で実施した。

すずらん群生地利用状況調査：平取町への聞き取り

来訪者数、利用交通量、利用交通経路及び利用交通手段：現地カウント



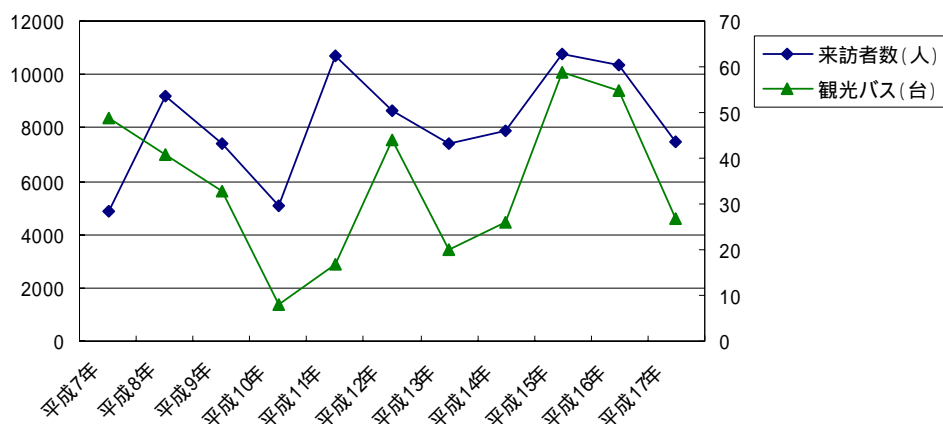
図3-3-1 調査地点位置図

### 3-3-2 調査結果

#### (1) すずらん群生地の利用状況

調査の結果、各年度の来訪者数は天候や開催日数（8～12日間）によるばらつきがあるが、年々増加傾向にあり、近年では1万人を超える年も見られる。

一方、来訪者の特徴としては、平日に比べて休日の利用が多いことが挙げられ、1日あたりの来訪者数及び利用交通量はともに休日が平日の約4倍となっている。



(参照：平取町提供資料)

図 3-3-2 過年度の来訪者数

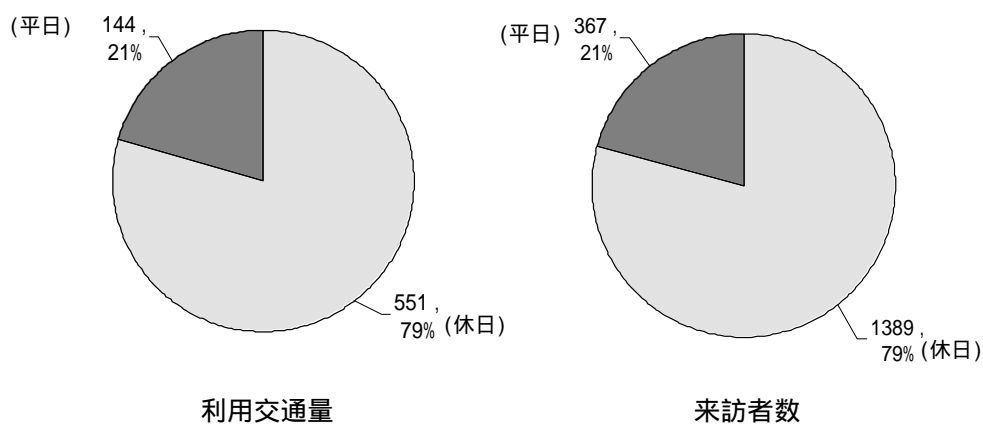


図 3-3-3 本年度の平休日別平均利用交通量及び来訪者数（1日あたり）

(2) 来訪者数及び利用交通量

調査の結果、平休日ともに来訪者数は12時前後がピークになっており、休日のこの時間帯は混雑が見られた。また、平日に比べて休日に利用者が集中していた。

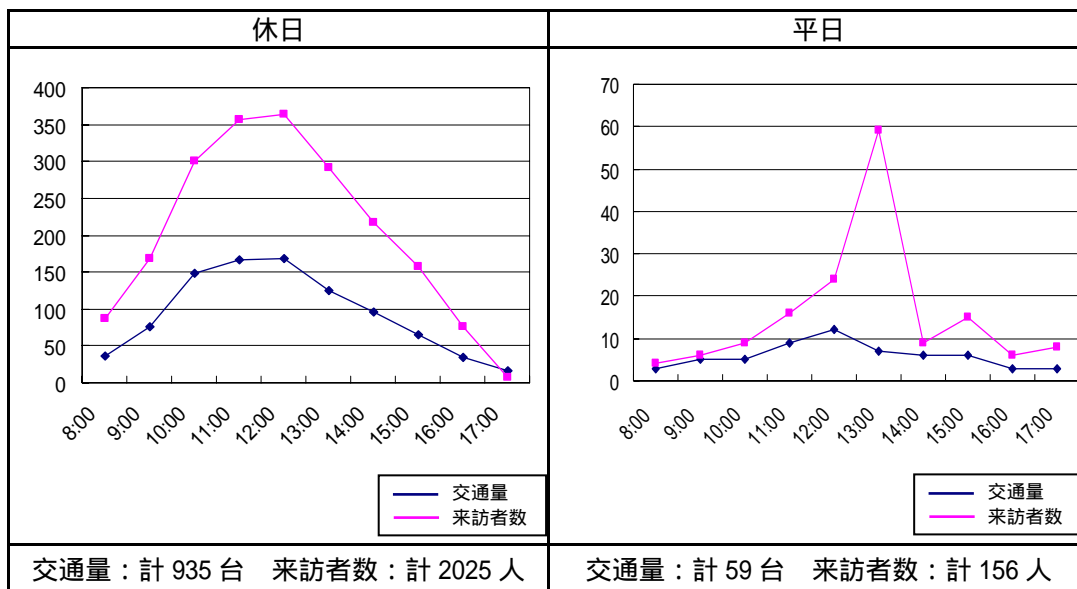


図 3-3-4 交通量及び来訪者数の時刻変化（1日あたり）



写真 3-3-1 休日の利用状況



写真 3-3-2 平日の利用状況

(3) 利用交通経路及び利用交通手段

利用交通の経路は、来訪者の9割以上が道道芽生貫気別線を利用し、利用交通手段は、普通乗用車が全体の約9割を占めていた。なお、利用交通車両の内訳は、札幌ナンバーが全体の約半数を占めていた。



図 3-3-5 利用交通経路

表 3-3-1 経路別交通量及び来訪者数

	休日				平日			
	交通量(台)		来訪者数(人)		交通量(台)		来訪者数(人)	
道道芽生貫気別線	857	(92%)	1869	(92%)	55	(93%)	146	(94%)
道道宿志別振内停車場線	78	(8%)	156	(8%)	4	(7%)	10	(6%)

表 3-3-2 交通手段(平休日合計)

交通手段	交通量(台)	割合(%)
普通自動車	876	88.2
軽自動車	88	8.7
2輪・原付	20	2
観光バス	4	0.5
大型トラック	3	0.3
タクシー	3	0.3
自転車	0	0
徒歩	0	0
合計	994	100

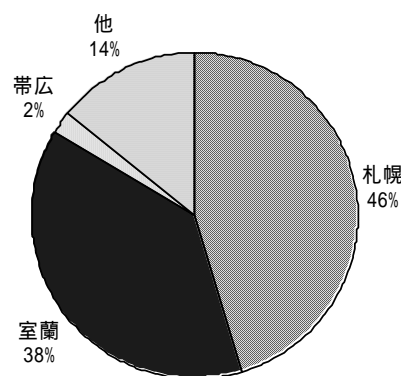


図 3-3-6 交通量車両の内訳